



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和6年2月19日 NO.11

第59回 新春市民書初展

ネーブルみつげ(ジュニア)

摩天楼に想う ～オンラインコンテンツなればこそ～

教育センター運営委員(西中学校:教頭) 小林 純



「ICTを活用した授業」が提唱されて久しく、「GIGA スクール構想」により、児童生徒に一人一台、端末が配置されている。学校や家庭にも Wi-Fi 網が普及したことで、目下の課題は、この環境を有効活用しながら生徒が自身の課題を解決していく資質・能力を、いかに育成していくか。そのための授業設計、活用方法、コンテンツ等の内容の検討が進んでいる。

さて、「GIGA」から少し離れるが、私は授業において生徒に提示する資料の一つとして、「NHK for School」や「NHK 高校講座」を利用している。私は社会科教員なので、社会科のコンテンツのみに触れるが、「for School」の社会科のコンテンツは本当によくできている。地理も歴史も公民も、一つの単元が10分間でまとめられており、生徒も飽きずに視聴することができる。もちろん、NHKの豊富な映像資料がふんだんに使用されており、一介の教員が集められるレベルの資料ではない。Eテレでのテレビ放送もあるが、「for School」のサイトからの配信もあり、生徒が自主的に視聴することもできる。

実は今回推したいのは、「高校講座」である。私はこの「高校講座」も授業で活用している。例えば、「for School」の地理では、アジア州など世界の諸地域ごとにその特徴がまとめられているが、「高校講座」では、アジアだけでも、中国や朝鮮半島、東南アジア、インド(南アジア)、中東地域(西アジア)、中央アジアと番組が細分化されており、同じアジアでありながら、その中の違いや個々の国の様子について示している。また、「高校講座」は、タレントがMCを務めているところも、生徒の関心を引く。地理では、かつてはお笑い芸人のサンドウィッチマンが、最近ではタレントの石原良純がMCを務めていた。(特にサンドウィッチマンは、生徒の“食いつき”がとてもよく、現在でも私はこのコンテンツを活用している。)また、本校の英語科は、同じく「高校講座」の「ベーシック英語」を活用している。「高校講座」とはいえ、中学生が視聴しても十分に理解できる番組設計、そして、中学校の教科書にはない、むしろより専門的な資料が、生徒の興味関心をかき立てていると考える。

そんなに言うなら「一度見てみようか」と、思った方もいるかもしれない。ここで、一つ注意が必要。それは放映・配信には期限があるということ。前述したサンドウィッチマンの「高校講座 地理」の放映・配信は、既に終了している。私は放映当時、毎週この番組を自宅で録画し、光学ディスクに残した。それを今も教材として使っている。教育のICT化、とりわけオンラインコンテンツの利便性に隠れた盲点は、オンライン上からコンテンツが、利用者がほしいときにはいつの間にか消えてしまっていること。「これは!」と思ったコンテンツは、是非、個人でアーカイブしておくことをおすすめする。(なので、私の部屋には光学ディスクが摩天楼のように積み上げられている。果たして片付くのか…。)

巻頭写真に寄せて = 『書初展』全作品に大きな感動をもらう =

◇「新春市民書初展」が、2月2日(金)から12日(月)までネーブルみつけ(一般の部は、ギャラリーみつけ)で、開催された。6日(火)の午後に見学に行ってみた。市内の小・中・特別支援学校の子どもの作品2,743点が、展示を(右写真)されていて、その作品の数に、まずは圧倒され、そして、作品に感動をした。学年毎に入賞した21名の作品

(巻頭写真は、中学一年の最優秀賞・金・銀・銅賞)は、素晴らしく授業(学校)だけではなく、冬休みに、家や書道塾等でたくさん練習をしたに違いない力作で、どの作品も大変に上手い。

◇また、シールを貼られていない(入選ではない)作品も、太さや止め・はらい等、個性溢れる筆運びの作品であり、一枚一枚に見入ってしまい、時間の経つのも忘れてしまうほど良い時間を過ごした。

◇さて、この書初展は見附市の新春の風物詩となっているが、今年で59回を数える。第1回の時、小学一年だった子どもが、今年65歳になっている。祖父母、父母、子どもの三世代で、「書初展」に出品をしたという家庭があるかもしれない。開催に当たって長年に渡り尽力を頂いている市美術協会の皆さんや関係者の皆さんに頭が下がる。展示の都合なのだろうが、美術展や作品展の多くが、学級何点という代表作品の出品である。「みんなちがってみんないい」の作品に触れられる、この「書初展」は、いつまでも続いて行ってほしいものである。



コラム = 誰に対しても「ありがとう」で接していた… =

◇谷村新司から、最近の小澤征爾まで、ここ数カ月の間に何人もの有名な音楽関係者が亡くなり寂しい。中でも、私は新年に入り、昨暮れに亡くなっていた八代亜紀の訃報は驚いた。谷村新司も小澤征爾も前から病氣療養中であつたが、昨秋までテレビでよく見かけた八代亜紀が、73歳の若さで亡くなったのである。八代亜紀ファンの私には、大ショックである。

◇1970年80年代に「なみだ恋」「舟唄」「雨の慕情」等のヒット曲で、大ブレイクをした歌手である。私がファンになったきっかけは、学生時代、知人から「八代亜紀のディナーショー」に連れて行ってもらったことによる。皆さんは「ドレス姿にハスキーボイスで歌う、少しふっくらした笑顔の素敵なお人」のイメージがあると思うが…、20代半ばの八代亜紀の哀愁のある歌声に、はっきりした顔立ちの美しさに魅了されて以来、ファンになった。

◇八代亜紀といえば、歌手の他に画家としても有名で、フランスの由緒ある展覧会に5年連続入選し、永久会員になった腕前である。また、様々なボランティア活動をしていたことでも有名で、長年、女子刑務所を慰問して、辛い境遇にある人々を歌で励ましたり、大震災が起こるたびに、被災地へ多くの壘を送ったりした。さらに、被災地を回り、被災者と膝をつき合わせて言葉を交わしたり、チャリティーコンサートを数多く開いて、復興に尽くしていた。

今、能登半島地震が起き、一か月半が過ぎるが、多くの被災者が未だに避難所暮らしである。八代亜紀が生きていたなら、「被災地へ壘を届けよう」と奔走していたに違いない。

◇さて、八代亜紀は何かあつたら、誰に対しても『ありがとう』『ありがとうね』と言っていたそうである。人間関係が希薄になっている現代社会で、大切なことは何かをしてもらったり頂いたりしたときに、誰に対しても、八代亜紀のように『ありがとう』が言えることが、大事だと思う。家庭や学校で『ありがとう』が言い合えれば、潤いのある生活になり、些細な事でもめ事がなくなるのではないか。夫婦や教師間で、子どもたちの手本になる日々を過ごしたいものだ。昨秋、BS11で『八代亜紀いい歌いい話』の番組で「ちょっと悪い所を治してくるね。」と語っていた八代亜紀をもう見ることはできないが、「♪お酒はぬるめの燗がいい肴は炙ったイカでいい…」の『舟唄』を、もう一度聞きたいものである。ご冥福をお祈りする。(こ)

4時から夢塾「先生方・子どもたちから学んできた教職人生」

第16回は2月8日(木)に、今町小学校の吉田孝則校長先生から、校長メッセージ「研究会授業の思い出・学級経営・学校経営を振り返る ～先輩、仲間、子ども、職員から学んできた教職人生～」の指導を頂いた。

1 はじめに

- ・大谷選手は高校時代、81の目標を達成シートに書き、努力をした。
- ・思う存分に学級経営をやり、子どもたちと楽しい日々を過ごして欲しい。

2 教職人生を振り返る

(1) 新採用は新潟市の小学校…近隣校の先輩の授業を参観し、「学ばなければ」と強く思った。
(2) 2校目、村松町(現五泉市)の小学校…塚野教育長の生き方に大きな影響を受けた。若手研究会で、たくさんのアドバイスを受ける。「ランドセルの後ろ姿から親の姿が見えてくる。」

研究授業を参観し、24枚にも及ぶ分析資料を下さったこともあった。

(3) 上北谷小学校…教えてくれる先生方から多くのことを学んだ。中でも日々親身になり、授業づくりを教えて下さったのが樋浦校長先生。

(4) 阪之上小学校 10.18「響き合って生きる」、総合的な学習の試み

- ・研究会で、4年社会科「今に伝わる米百俵の心」の授業を行い、もっと授業を良くしたいという思いを持つ。阪之上小で、国のタウンミーティングが開かれた。

(5) 附属長岡小学校の研究会授業・授業実践を振り返る

- ・総合学習は「学級のすべての子どもを見る大切さ」を秋田喜代美先生に教わる。授業板書は、次時まで、模造紙に書き写して掲示をした。

(6) 教頭時代のエピソード

- ・柏崎・三条・見附に勤め、ここにいる何人もの先生方と一緒に仕事をする。

(7) 校長時代の取組と思い出、先生方への感謝

- ・子どもは愛情をかければ返してくれる。→子どもを大切にすること。
- ・今町小は今年度、150周年記念事業を行った。教職員に感謝である。

3 おわりに …あきらめないで、自分を高めるために目標を持ち日々努力をし続けること。



吉田孝則先生



<参加者の声> ・「抽出児だけでなく、学級全員をしっかりと見ることが大切」という話が印象に残った。子どもをよく見ること、よく関わることを意識して授業を行っていこうと思った。

- ・自分が愛情を注ぐことで、子どもたちが変わるという吉田先生の熱い思いが伝わってきた。
- ・担任時代もやりがいがあったけれど、校長もやりがいがある。私も本当にそう思っている。
- ・立派な実践をされた方は、しっかり記録を残していると自分を恥ずかしく思った。一つ一つの人・もの・ことを大切に、教員人生を歩んでこられた吉田先生に少しでも近づきたいと思う。
- ・多くの出会いに支えられながら、教師としての力量を高めてきた教員人生の素晴らしさが伝わった。誠実に実践を重ねた姿勢、実践を語られる姿、記録の蓄積に多くを学ばせて頂いた。

科学教育部



《今日の1枚》

上北谷小校舎とスキーゲレンデ

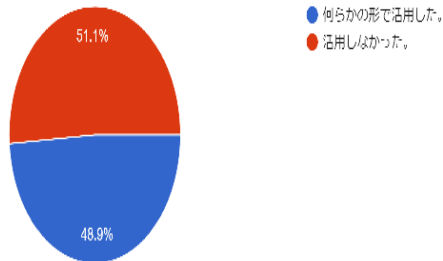
【事業アンケートのご協力ありがとうございました】

当センター科学教育部の事業アンケートに、ご協力いただきありがとうございました。先生方から回答いただいた内容を、今後の研修会等に生かしていきます。

アンケートの内容から研修会への参加以外にも「教育センターだより」、「e-fileのワークシート等」をよく活用していただいていることがわかりました。ありがとうございます。これからも、ほっと一息つけるようなお便りを発行していきます。理科授業の準備の負担が少しでも減ることや、単元の指導の見通しが立つなど、先生方に時間的・心理的な余裕が生まれるセンター運営を目指していききたいと思います。

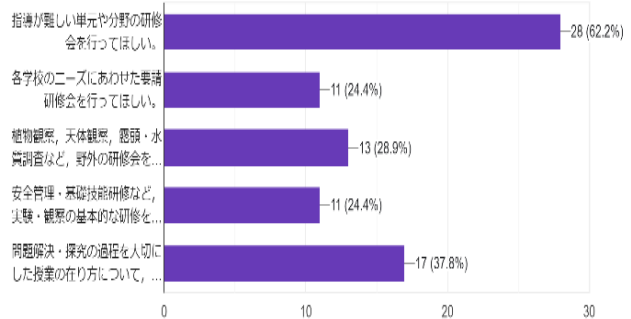
本年度、教育センター科学教育部を活用しましたか。

本年度、教育センター科学教育部を活用したかど...材や、教育センターだよりの活用を含みます。45件の回答



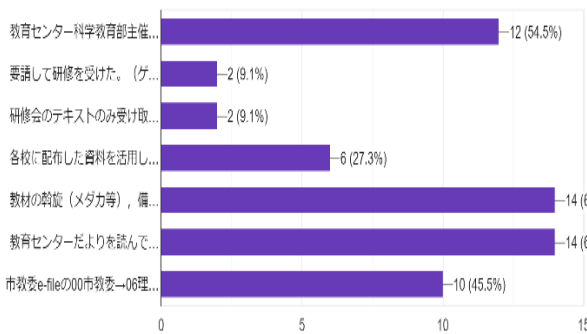
来年度、研修会では何に重点をおいてもらいたいですか。

来年度、教育センター科学教育部の研修会では、...いてありましたら「その他」にお書きください。45件の回答



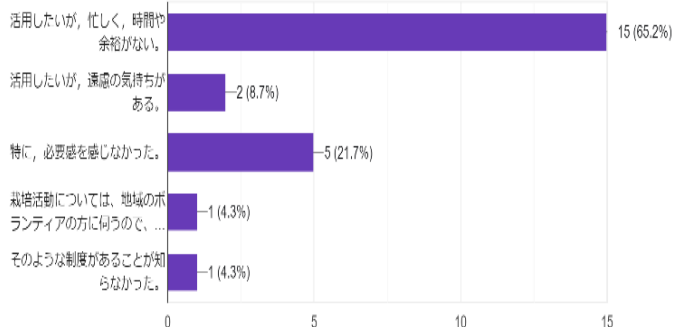
どのように教育センター科学教育部を活用しましたか。

どのように活用しましたか。(複数可) ※今後確定している予定も含みます。22件の回答



活用しなかった理由を教えてください。

本年度、教育センター科学教育部を活用しなかった理由を教えてください。(複数可) 23件の回答



理科に関することでお困りのことがございましたら、ぜひ、教育センター科学教育部までお気軽にご連絡をください。一緒に解決策を探りましょう。

科学の公園

新潟県地区理科教育センター発足60周年記念公開講座



本年度新潟県地区理科教育センターは、発足60周年を迎えました。60周年を記念して下記のように「60周年記念公開講座（参加費無料）」を実施しております。理科授業で悩まれている先生方におすすめの内容です。ぜひ、たくさんの方から視聴していただきたいと思います。

- 公開方法 オンデマンド配信 (Youtube)
※いつでも見られます。
- 公開講座 「子どもが主体的に学ぶ理科授業づくり」
- 講師 小学校理科：上越教育大学 准教授 山田 貴之 様
中学校理科：上越教育大学 教授 桐生 徹 様
- 申込方法 右上のQRコードより、「新潟県地区理科教育センター発足60周年記念公開講座参加申し込み」(Google フォーム)に必要事項を入力すると、動画のアドレスが送られてきます。動画視聴後には受講アンケート (Google フォーム)にお答えください。



新しい備品に「ドローン」が追加されました！

公益財団法人内田エネルギー科学振興財団の助成を受けて、「DJI Mini 3 Pro」を購入しました。来年度の研修会に取り入れていきたいと考えています。貸し出しもできますので、お気軽にお問い合わせください。

なお、今月の科学教育部便りの「《今月の1枚》上北谷小校舎とスキーゲレンデ」はドローンで撮影したものです。

